

## 4月1日より市役所の各庁舎が 敷地内禁煙となります



北秋田市では、来庁者及び職員を受動喫煙から守るための取り組みとして、平成31年4月1日から本庁舎及び各庁舎(出張所含む)を敷地内禁煙とします。

### 【対象施設】

本庁舎／第二庁舎／宮前町庁舎  
合川庁舎／森吉庁舎／阿仁庁舎／前田出張所／大阿仁出張所

秋田県では、生活習慣病の発症及び重症化の予防等による健康寿命日本一への挑戦を施策に掲げています。昨年度からオール秋田で取り組みを進めている「10年間で健康長寿日本一を目指す県民運動」において、基本計画となる「健康秋田いきいきアクションプラン」の中で『受動喫煙ゼロ そして禁煙』をスローガンに、禁煙を目標に掲げた取り組みの強化を図っています。

北秋田市では「けんこう北秋田21計画」に喫煙についての計画を掲げ、受動喫煙防止、喫煙習慣のある人の割合の減少を目指し、母子手帳交付時から乳幼児健診、各健康相談でたばこの害について周知を図っています。

## 自分の健康は自分で守る、健康寿命日本一を目指しましょう！

### 知っていますか？受動喫煙の害

受動喫煙とは、他人が吸っているたばこの煙を吸わされていることを言います。たばこの煙(主流煙)には、化学物質、有害物質、発がん物質が含まれ、たばこから立ち上がる煙(副流煙)には多くの発がん物質が含まれています。普段たばこを吸わない人は、たばこの煙に対する感受性が高く、他人の煙を吸うと、少しの量でも大きな健康被害を受けるとい報告があります。



### 市内で禁煙治療できる医療機関

- 児玉内科クリニック ☎0186-69-7311  
事前予約不要(祝休)
- 北秋田市立米内沢診療所 ☎0186-72-4501  
事前予約必要(原則午前の受診 祝休)
- たむら内科クリニック ☎0186-63-2700  
事前予約不要(祝休)
- 北秋田市民病院 ☎0186-62-7001  
事前予約不要(金曜日午前のみ心臓血管外科外来)



北秋田市  
地域おこし  
協力隊

## きたあきたの 魅力発掘

vol.11



吉田嵩之隊員

### 「恩返し」の2019年

北秋田市に来てから約1年。この1年で多くの出会いがあり、毎日充実した日々を過ごせていることに感謝しています。特に、今僕が住んでいる地域の皆さんには感謝がありません。

最初のコラムに書いたとおり、僕は小学生のころに旧合川町で行われていたまどび学園の園生でした。そして、当時の恩返しをしたいと思ひ地域おこし協力隊になりました。

実は、昨年(2018年)から地域の方に協力していただきながら、旧まどび学園の畑地の開墾を進めてきました。目的は、当時の僕がなぜ旧合川町を好いたのかを考えたいときに、目の前に広がる景色はひとつのポイントでした。春になれば山菜が芽生え、木々の葉が揺れ動く音は、当時の僕にとって感動以外にはありません。現在利用している子どもた



▲整地後の畑地

ちにも、当時の僕のように「本当にいいところだな」と感じてほしいと思っています。昨年(2018年)は草刈りと整地を終了し、冬を越してから開墾を再開しました。整地した写真の場所には、菜の花を一面に植える予定ですが、地域の方々に協力していただきながらの活動で、1人で恩返しができることに未熟さを感じながらも、当時の僕のように「本当にいいところだな」と感じてほしいと思っています。昨年(2018年)は草刈りと整地を終了し、冬を越してから開墾を再開しました。整地した写真の場所には、菜の花を一面に植える予定ですが、地域の方々に協力していただきながらの活動で、1人で恩返しができることに未熟さを感じながらも、当時の僕のように「本当にいいところだな」と感じてほしいと思っています。

### 環境 コラム 第24回

## リサイクルの始まりは 正しい処分から

今年度も終わりが近づいてきました。新年度への期待と不安を抱いている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて、今月の環境コラムのテーマは「家電リサイクル」です。家電リサイクルは、家電リサイクル法に基づいて行われており、家庭や事業所から出たエアコン、テレビ(ブラウン管・液晶・プラズマ)、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の「家電4品目」から、有用な部品や材料をリサイクルし廃棄物の減量をするとともに、資源の有効利用を促進することを目的としています。不要になった家電4品目はごみ集積所に出したり、クリーンリサイクルセンターで処分することはできません。

処分する方法として、①新しい製品に買い替える場合は、買い替えるお店へ引き取りを依頼する。②買い替えではなく処分のみ場合は、処分する製品を購入したお店に引き取りを依頼する。③購入したお店が不明な

場合は、郵便局でリサイクル券を購入し、指定引取場所へ各自で持って行く、もしくは市の一般廃棄物収集運搬業者等許可業者へ運搬を依頼する場合があります。いずれも料金については、お店や郵便局、業者へ事前にご確認ください。

なぜこのような処分方法なのかというと、確実に適正な処分をするためです。世の中には廃棄物の収集や運搬を「無許可」で行う業者が存在します。無許可の業者へ引き渡した場合、法を守った適正な処分の確認ができず、不法投棄や不適正処理につながる可能性があります。過去には火災などが起こった事例があります。環境保全のため、日頃から適正な家電リサイクルを意識しましょう。

